

留学を終えて

情報文化学科 2年 上條真季

私たちは8月27日から12月23日までの約4か月間ロシアのウラジオストク国立経済・サービス大学へ留学してきました。私は外国に行くのが初めてだったため、留学に行く前は緊張と不安でいっぱいでした。準備の段階で最も大変だったことはビザの取得です。三ヶ月以上滞在する場合はHIV検査が必要でした。通常だと一週間かかるのですがそれでは間に合わなかったため、すぐに検査してくれる病院を個々で探してなんとか全員間に合うことが出来ました。先生に言われなくてもビザ取得に必要なものは自分で詳しく調べ、早めに準備しておくといいと思います。



[授業]

授業は1コマ90分で1限は8時30分から始まりました。はじめは日本人だけで授業を行っていたのですが、二週間ほどたってから三つのクラスに分かれて授業を行いました。音楽、美術、地理、歴史は日本人だけで行っていました、それ以外の授業は各クラスで行い

ました。私は中国、韓国、インドネシア、ベトナムからきたクラスメートと一緒にロシア語を勉強しました。当然ですが授業も宿題を言われるときもすべてロシア語で言われるのではじめは全く聞き取れず単語を必死で調べたり何度も聞き返したりしていました。一番大変だった授業は歴史と地理の授業でした。難しい単語がたくさんあってまったく理解できず落ち込むばかりでした。ですが、どの先生もとても優しいので分かりやすい言葉に言い直してくれたり、黒板に分からない単語を書িয়েくれたりしました。徐々に先生の言っていることが分かるようになってきて、自分から発言することができ、積極的に毎日楽しく授業に参加していました。また、パワーポイントを使って授業中に発表するという宿題もあ



ったのでパソコンと USB も持っていくといいです。



[寮での生活]

寮は学校から歩いて約 5 分の場所に
あります。外へ出なくても寮の中から学校
へ行くことも出来ます。学食は様々な料
理があるので好きなものを言うと作っ
ている方がそれをとってくれます。値段
は 500 円くらいでした。キッチンは一
共同なので自分と同じ階の人と譲り合
いながら使っていました。私たちの階は少
しロシア人がいましたがほとんどが国
際情報大学の学生でした。調味料はロシ



アにも売っていますが高いので自分でも少し持っていくといいと思います。私は麺つゆとインスタントの味噌汁を持っていきました。ネットは 10 月中旬まで寮で携帯電話とパソコンが使えず、携帯電話を使うときは学校まで行って学校の Wi-Fi を利用していました。Wi-Fi は一月 4GB か 40GB かを選んでお金を払って使えるようになりました。私は日本で使っていた携帯電話を海外モードにしてからそのままロシアでも使っていました。ですが寮と学校以外では電話が使えなかったため、みんなで現地で携帯電話を 3 台買い、先生と連絡をとったり、外に出るときに連絡が出来るように持って行ったりしました。またシャワーは、はじめの二週間くらいは部屋でお湯が出なかったため寮から歩いて 5 分の場所にある大学の体育館まで行きました。プールのシャワールームはお湯が出ていたのでお湯が出るまではそこを利用していました。水道水は飲めないためお店で買っていました。私の部屋はゴキブリが頻繁に出たり、部屋の電気がつかなくなったり、周りの部屋よりも部屋の中が寒かったり、シャワーの蛇口がとれて部屋が洪水になったりと少し不便なこともあ

りましたがそれでも同部屋の子と楽しく過ごしていたのでそれも今では良い思い出になりました。

[イベント]

はじめは自分たちも参加する形の小さいコンサートに行きました。周りの人に合わせて一緒に踊ったりしました。最初は恥ずかしさもありましたが、日本にはない感じがとても新鮮でした。また、私たちは音楽の授業で習ったことを12月19日のコンサートに出て発表しました。ロシアの歌を4曲歌い、ロシアの楽器を国際情報の学生18人で演奏しました。歌詞がなかなか覚えられず苦労しましたが、必死で練習して成功させることが出来ました。10月中旬には他のクラスと合同でバーベキューをしました。初めてロシアで電車に乗りました。みんなでスポーツをしたり、ゲームをしたり、食べたりして、様々な国の人と話す機会がありました。そこでも友達の輪が広がってとても楽しかったです。

私がロシア人の友達が出来たのは10月です。クラスにはロシア人の学生がおらず、ずっとロシア人の学生と友達になりたいと思っていたのでとても嬉しかったです。1回目に遊んだ時は散歩に行きました。行ったことのない場所に案内してもらったり単語を教えてもらったりしました。たくさん話せて楽しかったのですが友達の言っていることがすぐに理解できなかつたので悔しい気持ちでいっぱいでした。ですがロシア人の友達は何度も言ってくれたり、簡単な言葉に変えてくれたり、身振り手振りで話したりしてくれて、とてもいい人たちでした。2回目はカフェと買い物に連れて行ってもらいました。2回目に遊んだ時は1回目よりスムーズに会話ができたと感じます。ロシア人の友達と話す機会をもてたことでもっと話せるようになりたいと強く思い、もっとロシア語の勉強を頑張ろうという気持ちになりました。ロシア人の友達とは今でも連絡をとり合っています。私はロシア人の友達が出来るのが遅かったので早く友達を作っているいろんな場所に行ったり、教えてもらったりすると思います。



[環境]

8月、9月の上旬は非常に暑いです。寮から学校に行くまでや、街の中は坂がたくさんあります。スニーカーなどの歩きやすい靴を持っていくといいです。10月からは一気に寒くなります。ウラジオストクは雪が少ないと言われていましたが私たちが行った時は12月になると大雪でした。吹雪で休校になったこともありました。雪だけでなく気温も非常に低いので防寒はしっかりしましょう。私は日本で着ていたコートを持って行きました。ブーツは1500ルーブルくらいのものを買ったのですが、道がつるつるに凍っていて非常に滑ったのでもっと高いものを買うか履きなれているブーツを日本から持って行けばよかったと少し後悔しました。洋服は夏服と冬服を持っていきましたが、街に行くとおしゃれな服が売っているお店があるのでそこでも買いました。値段は日本と同じくらいの値段です。また、外は日本では味わうことの出来ない寒さだったので積極的に外に出て友達と雪合戦をしたり、夜景を見に行ったり、海が凍っていたので海の上を歩いてみたりしました。凍った海の上で釣りをしている人もいました。夜景は日本では見たことのないような美しい景色で感動しました。買い物は寮から歩いて5分くらいのところにあるスーパーを利用していました。スーパーの店員は無表情です。小銭がないと小銭はないのかと不愛想な感じで聞かれるので少し怖かったです。ですが、慣れてくると店員の言っていることも分かってきます。休日になるとバスで街まで行きました。最初はどこに何があるのか分からなかったのですがおしゃれなカフェを見つけたり、雑貨屋さんに行ったりしました。中華料理、韓国料理のお店もあったのでみんなで食べに行ったりもしました。また街では市場があり、野菜やパンやお菓子が売っています。たくさんの種類のものが売っているので見るだけでも楽しいです。スーパーとは違って値段や何を買いたいかを自分で言わなければならないので少し大変ですがロシア語を使ういい機会だと思うので行ってみるといいと思います。

テストが終わって最後の一週間は自由だったのでみんなで土産を買に行ったり、ご飯を食べに行ったりとても楽しく過ごしていました。



[おわりに]

生活していて感じたのは日本でもっと数字を徹底して勉強すればよかったという点です。授業で教科書のページを言われたり、買い物で会計したりと生活していく中で数字はあらゆる場面で多く使われます。ロシア語で数字を言われてすぐに分かるくらいにしておくといいと思います。

留学に行く前は4ヶ月間も日本から離れて大丈夫なのかと不安ばかりでした。最初の1ヶ月は日本とは全く違うロシアでの生活に慣れるまで大変でしたが、ロシアで過ごした4ヶ月間は本当にあっという間でした。私はロシアに行ってから日本に帰りたと思ったことは一度もありませんでした。むしろ帰国する一ヵ月前くらいからまだ日本に帰りたくないと思っていました。ロシアに行ったことで日本がどれだけ恵まれているのか、日本の生活がどれだけ便利なのかを感じることができました。改めて日本の良い面を知ることが出来たりロシアの良い面を実際に現地に行くことで感じたりすることが出来ました。大学に入学するときから留学したいと思っていましたが、実際に異文化に触れることで、このように感じる事が出来たので本当にロシアに行ってもよかったです。自分の価値観や知識の少なさも改めて感じたのでしっかり勉強して広い価値観を持てるようになりたいと強く感じました。授業では発言し、ロシア人の友達と話す時は自分から話しかけるようにしていたので留学に行く前よりも積極的になれたと思います。また、ロシア人の友達だけでなくクラスメートと仲良くなれたことも非常に思い出深いです。4ヶ月間一緒にロシア語を勉強してお互いに教えあったり、クラスメートの家に遊びに行ったりしました。クラスメートと会話をするときにはロシア語か英語で話していました。ロシアのことだけでなくクラスメートの国のことも聞いて自分が持っていた他国の印象が変わり、初めて知ったこともたくさんありました。クラスメートとも今でも連絡をとり合うくらい仲良くなり、帰国するときは本当に離れるのが辛かったです。この留学を通してたくさんの貴重な出会いがあり、様々な経験が出来ました。ロシアで生活した4ヶ月間は忙しい日々でしたがとても充実した毎日で、本当に最高でした。このような充実した留学生活が送れたのも家族、国際情報大学の先生方、ロシアで出会った方々、一緒に留学をした国際情報大学の友達の支えがあったからです。本当に感謝しています。この貴重な経験を絶対に無駄にしないよう、留学生活でのたくさんの経験をこれからの将来に少しでも生かしていきたいと思っています。

